

1. 科目名 (単位数)	英語基礎演習Ⅲ (文法・作文) (2単位)	3. 科目番号	EDEN2301
2. 授業担当教員	志手 和行		
4. 授業形態	講義、演習、 ペア・グループ活動	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。		
7. 講義概要	本講座の目標は、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけることにある。特に本講座では英語基礎演習Ⅱ(文法・読解)で学んだことを踏まえ、英語の文法に焦点を置き、英文法事項を整理・確認し、英作文の指導ができる英語学的知見を養う。この目的のため、英文法の基礎的な事項を復習し確認しながら英文を書く基礎を身につける。また、各課の重要事項を踏まえうえで自ら相手に伝えたいことを英語で「書く」訓練も合わせて積んでいく。以上の訓練を通し英語学的知見である文法理解を深めていく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文を書くために必要な英文法の基本的な事項の復習と確認を行い、基礎的な英文を書くための英語学的知見を養う。 2. 自分で書いた英文の文法的問題点を知り、より良い英文を書くための英語学的知見を養う。 3. 英作文の指導上の課題を考察することで文法的理解を深める。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容の理解を深めるために予習・復習としてテキスト内の問題を毎回課す。 2. 「書く」ことを通じた表現能力を磨くため、夏期休暇中の課題としてライティングの問題演習を課す。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 山内信幸・赤楚治之・北林利治著『A Grammar-Focused Approach to English Composition - 文法から攻める英作文のための15章』英宝社。</p> <p>【参考書】 川崎芳人・久保田廣美『総合英語 Evergreen』いっぴぐ書店。 志手 和行『英文法を理解する』翔雲社、2024。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文を書くために必要な英文法の基本的な事項の復習と確認を行い、基礎的な英文を書くための英語学的知見を養えたか。 2. 自分で書いた英文の文法的問題点を知り、より良い英文を書くための英語学的知見を養えたか。 3. 英作文の指導上の課題を考察することで文法的理解を深める。 <p>○評定の方法 以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業中の態度・積極的参加度 総合点の20% 2 課題 (ライティング、レポート等) 総合点の20% 3 小テスト 総合点の25% 4 期末テスト 総合点の35% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	四技能のうち「書く」力をつけることは他の三技能と比べてかなりの困難さを伴う。特に「正確さ」が文法と語彙の両面において求められ、それを身につけることは一朝一夕にはいかない。対策としては、自分が使いたい英語表現をノートに書き留めて表現集を作成するという勉強法がある。また、日記等を通じて日頃から英語を継続的に書く習慣を形成し、間違いと訂正を繰り返しながら力をつけてみることも勧めたい。		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	この科目を受講するにあたっての留意点	事前学習	自分のライティング力について振り返り授業に臨むこと。
		事後学習	講義の流れをつかみ、学習計画を立てる。
第2回	第1章 英文をうまく組み立てるには？〈主語・目的語・補語〉／第2章 動詞に着目してみると？〈動詞と文型〉	事前学習	テキスト第1&2章 (pp. 7-8&13-14) を読み、演習問題を通じて文型のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第3回	第3章 時間を点としてとらえる表現は？〈時制〉	事前学習	第3章 (pp. 20-21) を読み、演習問題を通じて時制のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第4回	第4章 時間を線としてとらえる表現は？〈相〉	事前学習	第4章 (pp. 26-27) を読み、演習問題を通じて相のポイントを押さえる
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第5回	第5章 動詞の働きをになう表現は？〈不定詞〉	事前学習	第5章 (pp. 32-33) を読み、演習問題を通じて不定詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第6回	第6章 動詞と名詞の働きをになう表現は？〈動名詞〉	事前学習	第6章 (pp. 38-39) を読み、演習問題を通じて動名詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第7回	第7章 形容詞と副詞の働きをになう表現は？〈分詞〉	事前学習	第7章 (pp. 44-45) を読み、演習問題を通じて分詞のポイントを押さえる。

		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第8回	第8章 動詞に味付けをほどこす表現は？ (助動詞)	事前学習	第8章 (pp. 49-50) を読み、演習問題を通じて助動詞のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第9回	第9章 視点を換える表現は？ (能動文と受動文)	事前学習	第9章 (pp. 55-56) を読み、演習問題を通じて能動文と受動文のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第10回	第10章 仮定の表現は？ (仮定法)	事前学習	第10章 (pp. 61-62) を読み、演習問題を通じて仮定法のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第11回	第11章 スパイスを加える表現は？ (修飾)	事前学習	第11章 (pp. 67-68) を読み、演習問題を通じて修飾のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第12回	第12章 比べる表現は？ (比較)	事前学習	第12章 (pp. 73-74) を読み、演習問題を通じて比較のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第13回	第13章 文をつなげる表現は？ (接続)	事前学習	第13章 (pp. 79-80) を読み、演習問題を通じて接続のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第14回	第14章 ヴァリエーションを増やす表現は？ (否定・強調・省略)	事前学習	第14章 (pp. 87-88) を読み、演習問題を通じて否定、強調、省略のポイントを押さえる。
		事後学習	同章内の演習問題の復習と残りの問題に取り組み、既習事項を定着させる。
第15回	英語ライティングについての総括	事前学習	既習事項を整理し、疑問点があれば質問する準備をしておく。
		事後学習	総復習を行い、試験に備える。
期末試験			